

イミダクロプリド粒剤 アドマイヤー 1 粒剤	取扱メーカー： クミカ、バイエル、一農、琉産 原体メーカー： バイエル
成分： イミダクロプリド〔ネオニコチノイド系〕……………1.0%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- アドマイヤー顆粒水和剤の項参照。
- 粒剤なので簡便に処理できる。
- 定植時やは種時の処理でアブラムシ類とミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類を長期間抑え、これら害虫に対する生育期の防除回数を低減できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 定植時の植穴処理では、主に覆土に 1 株当たり所定量の薬剤を処理し、苗を置いた後、覆土を戻すと簡単に土壌と混和できる。
- 土壌水分が少ないと薬剤が吸収されにくいので、極端な乾燥条件下では定植・処理前後に十分灌水する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- きくのミナミキイロアザミウマに使用する場合、生育期後半に使用すると効果が不十分になる場合があるので生育期前半に使用する。

●メロン、トマト、ミニトマト、なす、とうがらし類、ピーマン、きゅうりの育苗期後半に使用する場合は、直径 9 cm 以上のポットで育苗した苗に使用する。

●だいず及びえだまめの育苗培土に使用する場合には、処理後速やかに使用する。また本剤を処理した育苗培土を放置しない。

●かんぎつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後灌水をする。効果発現が遅れることがあるため、対象害虫発生前に使用する。

●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- つまみ菜、間引き菜には使用しない。
- 甲殻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意する。
- 共通注意事項 7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含 む農業の総使用回数
稲	－	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3kg	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (は種時（直播） 又は移植時まで の処理は1回以 内、本田での散 布は2回以内)
かんきつ (苗木)		ミカンハモグリガ	20g/ 樹 (但し、 6kg まで)	育苗期	1回	株元散布	－
豆 類 (種実、但し、 だいずを除く)		アブラムシ類	3kg	は種時		播溝土壌 混和	3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)
だ い ず			セル成型育 苗トレイ1 箱又はペー パーポット 1冊 (30× 60cm、使 用土壌約 1.5～4ℓ) 当り 50g			本剤の所 定量をセル 成型育苗 トレイ又は ペーパーポ ットの培土 に均一に 混和する。	3回以内 (定植時及びは 種時の土壌混和 は合計1回以内、 散布は2回以内)
えだまめ						3kg	
				2g/ 植穴 (但し、 6kg まで)		定植時	
			3kg	は種時		播溝土壌 混和	
豆 類 (未成熟、 但し、えだまめ、 さやいんげん、 未成熟そらまめ を除く)			1～2g/ 株 (但し、 6kg まで)	定植時又は は種時		植穴土壌 混和	
さやいんげん			3kg	は種時		播溝土壌 混和	3回以内 (定植時及びは 種時の土壌混和 は合計1回以内)
未成熟そらまめ			2g/ 植穴 (但し、 6kg まで)	定植時		植穴土壌 混和	4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内、散 布及び常温煙霧 は合計3回以内)
			1g/ 株	育苗期後半		株元散布	
きゅうり			アザミウマ類	1～2g/ 株		定植時	
		コナジラミ類		2g/ 株			植穴土壌 混和

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ズッキーニ	ー	アザミウマ類 コナジラミ類	2g/ 株	定植時	1 回	植穴土壌 混和	4 回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は3回以内)
す い か		アブラムシ類	5g/ 株 (但し、 3kg まで)			株元土壌 混和	
			1 ～ 5g/ 株 (但し、 3kg まで)			植穴土壌 混和	
		アザミウマ類	1 ～ 2g/ 株 (但し、 3kg まで)				
メ ロ ン		アブラムシ類	1g/ 株	育苗期後半		株元散布	4 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計 1 回以内、 散 布は 3 回以内)
			アザミウマ類	1 ～ 2g/ 株			植穴又は 株元土壌 混和
		コナジラミ類					2g/ 株
か ぼ ち や		コナジラミ類 アザミウマ類		3 回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)			
に が う り		アブラムシ類	1 ～ 2g/ 株			植穴又は 株元土壌 混和	2 回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内)
まくわうり			1g/ 株			植穴土壌 混和	1 回
ト マ ト ミニトマト		コナジラミ類	0.5 ～ 1g/ 株	育苗期後半		株元散布	3 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計 1 回以内、 散 布は 2 回以内)
		アブラムシ類 コナジラミ類	1 ～ 2g/ 株	定植時		植穴土壌 混和	
ピーマン とうがらし類		アブラムシ類	1g/ 株	育苗期後半		株元散布	3 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計 1 回以内、 散 布及び常温煙 霧は合計 2 回以 内)
			アザミウマ類	1 ～ 2g/ 株		定植時	
な す		アブラムシ類					1g/ 株
			アザミウマ類	1 ～ 2g/ 株			植穴又は 株元土壌 混和
		アザミウマ類					4kg
わ け ぎ あ さ つ き			アブラムシ類	0.5g/ 株			
ね ぎ							
は く さ い		アブラムシ類	0.5g/ 株			植穴土壌 混和	3 回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農業の総使用回数	
キャベツ	—	アブラムシ類	0.5g/ 株	定植時	1 回	植穴土壌混和	3 回以内 (育苗期の灌水及び定植時の土壌混和は合計1 回以内, 散布は2 回以内)	
ブロッコリー							4 回以内 (育苗期の灌水は1 回以内, 定植時の土壌混和は1 回以内, 散布は2 回以内)	
レタス				育苗期後半		株元散布	3 回以内 (育苗期の処理は1 回以内, 散布は2 回以内)	
だいこん			3～6kg	は種時		播溝土壌混和	3 回以内 (は種時の土壌混和は1 回以内, は種後は2 回以内)	
非結球あぶらな科葉菜類							2 回以内 (は種時の土壌混和は1 回以内)	
なばな類							なばなは2 回以内 (は種時の土壌混和は1 回以内), なばな以外のなばな類は1 回	
ほうれんそうかぶ			4kg	収穫7 日前まで	2 回以内	株元散布	1 回	
ごぼう				育苗期後半				
いちご			0.5g/ 株	定植時	1 回	植穴土壌混和	2 回以内 (定植時までの処理は1 回以内, 散布は1 回以内)	
パセリ		アブラムシ類	3kg	は種時 収穫14 日前まで		播溝散布	株元散布	
				3～6kg		培土時 (基根伸長期)		株元土壌混和
こんにゃく			6kg	生育期 但し収穫21 日前まで	2 回以内	茎葉散布		
さといも さといも(葉柄) ばれいしょ			4kg	植付時	1 回	植溝土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌混和は1 回以内, 植付後は2 回以内)	

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
れ ん こ ん	－	イネネクイハムシ	3kg	植付時	1 回	植溝土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌混和は 1 回以内、植付後は 2 回以内)	
		クワイクビレアブラムシ	4kg	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布		
か ん し ょ		コガネムシ類	4～6kg	植付前	1 回	作条土壌混和	3 回以内 (植付前の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)	
			6kg			全面土壌混和		
やまのいも		アブラムシ類 コガネムシ類	4kg	植付時		植溝土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)	
やまのいも (むかご)							コガネムシ類	1 回
に ら		アザミウマ類		定植時		株元散布	2 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、株元散布は 1 回以内)	
				収穫 30 日前まで				
じゅんさい		じゅんさい田	ユスリカ類	3kg	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
花 き 類・ 観 葉 植 物 (きく、ばら、 ペチュニア、 レザーファン を除く)		－	アブラムシ類	2g/ 株 (但し、 6kg まで)	生育期	5 回 以内	株元散布	5 回以内
き く			アザミウマ類	3kg			散布	
			アブラムシ類	2g/ 株 (但し、 6kg まで)			株元散布	
ば ら			イバラヒゲナガアブラムシ				株元土壌混和	
ペチュニア			アブラムシ類	1g/ 株 (但し、 3kg まで)	定植時	1 回	株元散布	
レザーファン			アザミウマ類				植穴土壌混和	
			ポインセチア	アブラムシ類	2g/ 株 (但し、 6kg まで)	生育期	5 回 以内	
コナジラミ類	1g/ 株 (但し、 3kg まで)			株元散布				
				株元土壌混和				
つつじ類	コガネムシ類		4kg	植付時又は 植替時	2 回 以内	作条土壌混和	5 回以内 (株元灌注は 2 回以内、土壌混和は 2 回以内)	
	ツツジグンバイ	6kg	発生初期	5 回 以内	株元散布			
樹 木 類 (つつじ類 を除く)	コガネムシ類	4kg	植付時	2 回 以内	作条土壌混和	2 回以内		

作物名	適用場所	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含 む農業の総使用回数
ご ま	—	アブラムシ類	3kg	は種時	1 回	播溝土壌 混和	1 回
に ら (花茎)		ネギアザミウマ	4kg	定植時		植溝土壌 混和	2 回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内, 株元散布は1 回 以内)
				収穫30 日 前まで			
た ば こ		アブラムシ類	3kg (1g/ 株)	植付時		植穴土壌 混和	2 回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内, 散布は1回以内)